

科目名	社会問題					開講 キャンパス	神 埼
担当者	永 原 丞						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	資本主義はその経済法則によって、必然的に基本的な社会問題が生み出される宿命にある。社会問題と呼ばれる現象は、一般的には国民の生存や生活が危うくされ、諸権利が侵害される状態であるから、諸問題を解決・解消しなければならない。社会問題は個別的、偶然的な要因によるものではなく、社会的要因に起因するものである。講義では、社会問題の誘発要因を科学的に分析するための洞察力を養う。						
授 業 の 到達目標	1) 社会問題が発生する背景について理解することができる。 2) 資本の運動法則を理解することができる。 3) 失業の諸形態とその発生要因について説明することができる。 4) 国民生活を生涯にわたって支える国家の役割と制度設計の重要性を理解することができる。 5) 福祉の充実と経済成長との相関関係を理解することができる。						
学習方法	講義（パワーポイント使用）						
テキスト及び参考書等	講義中にプリントを配布						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				50	
小テスト等	○	○				20	
宿題・授業外レポート	○	○				20	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション、1. 社会問題とは何か ①社会問題の分類 ②社会問題と社会運動 ③社会問題と社会進歩						
第 2 週	2. 資本と労働 ①市民社会としての資本主義社会 ②労働者階級の形成と労働運動						
第 3 週	③資本主義社会への労働者階級の統合 ④社会改良主義の展開						
第 4 週	3. 原生的労働関係						
第 5 週	4. 産業革命と労働者の貧困						
第 6 週	5. 貧困の本質と形態						
第 7 週	6. 社会保障制度の萌芽 ①社会保障制度の出現						
第 8 週	②戦争と社会保障制度の拡大						
第 9 週	③国家独占資本主義と社会保障						
第 10 週	7. 福祉国家 ①福祉国家形成前の国際関係とその背景						
第 11 週	②福祉国家の定義 ③福祉国家形成の要因						
第 12 週	④日本の福祉国家への仲間入り						
第 13 週	8. 現代日本社会における労働問題（非正規雇用を中心として）						
第 14 週	9. 現代日本社会における老人問題（所得保障を中心として）						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考							